



# 創立百周年通信

## テーマシンボルマーク表彰式行われる



令和2年1月15日（水）

表彰式の様子

テーマとシンボルマークを考えて作成してくれた2人の児童の表彰式が行われました。テーマは荒木葵さん、シンボルマークは佐々木旬さんがたくさんの応募作品の中から選ばれました。会長より、賞状記念盾が送られました。2人の作品は100周年を迎えて、未来へのメッセージをこめたすてきな作品でした。



**100年の歴史 絆の輪** 帯広柏小

帯広柏小学校（鈴木義秋校長、児童474人）が児童から募集した創立100周年のテーマとシンボルマークが決まり、これをデザインした記念盾が15日の3学期始業式で披露された。

同校100年に創立100周年を迎える。テーマは「柏っ子 百年のきずな つないでく」で、荒木葵さん（6年）が考案。マークは佐々木旬さん（5年）が考案。

**マークとテーマお披露目**

年が輪になって手をつなぐ姿で「絆」を表現。カワの木の葉を取り入れることで柏らしさを表した。記念盾の大きさは横7尺、縦1尺2寸。同じデザインで記念盾が、児童玄関上外壁と校舎南側、北側に設置される。

始業式では記念盾が披露され、荒木さんと佐々木君が表彰された。荒木さんは「100

0周年の卒業生として下級生に伝承をつないでいきたい」、佐々木君は「マークはジョン・レノンの『ア・マジン』からイメージを膨らませた。お互いを認め合える学校になつてほしい」と話した。

同校は1920（大正9）年に設立認可を受け、翌年、帯広市東2、3丁に帯広第一尋常小学校として開校。記念事業実行会（荒木樹会長）を中心に、10月の記念式典や初賞状に向けて準備を進めている。（細谷敏生）

十勝毎日新聞に掲載されました



## 記念看板除幕式



100周年看板が披露されました。冬休みの間に、正面玄関と校舎南側、北側に看板が設置されました。幾久しく伝統が継承されていきます。

設置の様子です！